

総務部

沖縄振興功績者表彰

POINT

平成23年5月16日(月)に、「沖縄振興功績者表彰」の表彰式を行い、沖縄の振興に功績があつた四者が表彰されました。

沖縄総合事務局では、経済の振興及び社会の開発など沖縄の振興に貢献し、顕著な功績又は功労があつた団体、企業又は個人を広く対象として表彰することにより、沖縄における創業や事業展開等の意欲を喚起し、今後の沖縄の一層の振興発展に資することを目的として、「沖縄総合事務局沖縄振興功績者表彰」を平成16年度から実施しており、今年度で8回目を迎えました。

竹澤局長は、表彰を受けられた方々へのあいさつの中で「皆様方のこれまでの沖縄の振興への多大な御尽力に敬意を表しますとともに、今後とも、沖縄の振興に一層貢献していただき、益々のご発展と更なる活躍を期待しております。」と述べました。

また、記念撮影には琉神マブ



前列左から／川満長英氏、マブヤープロジェクト 島中敏成代表、(社)久米島町観光協会 大田治雄会長、(有)海の種 金城浩二代表取締役
後列左から／名城総務課長、高柳農林水産部長、川崎次長、大城選考委員、琉神マブヤー、竹澤局長、砂川選考委員、瀧辺選考委員、
田中総務部長、山内経済産業部長

域ヒーロー「琉神マブヤー」による沖縄発のキャラクタービ

★マブヤープロジェクト

シーサーをモチーフとした地域ヒーロー「琉神マブヤー」による沖縄発のキャラクタービ

★川満 長英氏

今回表彰を受けられたのは、以下の方々です。

ヤーも駆け付け、表彰を受けられた方々と、竹澤局長、琉神マブヤーが並んで撮影するなど、本表彰式は和やかな雰囲気で行われました。



局長挨拶



表彰式後に行われた懇談会の模様

★社団法人 久米島町観光協会

全国初の先進的な取組として、行政やホテル、観光施設、病院等の地域事業者の連携により「食物アレルギー対応旅行」を商品化。離島振興のモデルともいえる本取組によって、地域の活性化に大きく貢献。

★有限会社 海の種

過去7年間で約3万本以上のサンゴの移植を実施し、その大部分を生育させ、沖縄の観光業及び漁業の活性化のみならず、地域活性化にも大きく貢献。